

昔懐かしい大道芸能をたん能



南京玉すだれやがまの油売りなどの日本の大道芸能の公演会「江戸の町がやって来る」が、市民会館で開催。昔懐かしい江戸芸が繰り広げられ、訪れた市民を魅了した。(10月23日)

迫力あるフルオーケストラの音を体感

札幌交響楽団の演奏会が海陽小学校で開催。クラシック音楽のほか、同校の校歌などを演奏。「かじやのポルカ」では、同校の児童が共演。本物の音楽に触れ、貴重な体験となった。(11月1日)

生活者の視点でまちづくりを



町会・自治会婦人部と市長との「さーくるとーく」が胆振地方婦人会館で開催され、参加した80人は、住みよいまちを願って意見交換を行った。(11月15日)

本格的な英語劇を熱演

海星学院高校1年生による英語劇「オズの魔法使い」が開催された。学生が演じる愛きょうのあるキャラクターや迫真の演技が披露された。(11月3日)



12月で100回目の催し。母恋駅を愛する会

平成8年9月からマリン少年少女合唱団や昔の手あそびなど、多彩な催しを毎月休むことなく続けてきた母恋駅を愛する会が、これまでの99回の催しを写真で紹介した記録写真展を開催。会場の母恋駅に訪れた人は、懐かしそうに写真を見入っていた。次回の第100回目はマジックショー(19ページ)を開催。(11月12日・13日)



母恋駅を愛する会の皆さん

月に1度でも、母恋駅に昔のにぎわいを取り戻したかったことがきっかけで発足した、母恋駅を愛する会。同会ではこれからも毎月第2土曜日に催しを続けていくので、たくさんの人に見に来て欲しいと呼び掛けている。

まちかど トピックス